

第 1 回上下水道事業運営審議会 会議録

1/3

開催日	R1年10月10日	時間	19:00~20:30	場所	朝日村役場 第一会議室
会 議	第1回 上下水道事業運営審議会				
内 容	同上				
出席者 等	<p>関係者 計 11 名 村長 小林弘幸</p> <p>上下水道事業運営審議委員 会長 上條利春 副会長 上條典泰（欠） 齊藤勝則、武田裕幸、上條英弥、羽多野利昭、横内健太郎、島田ひとみ</p> <p>事務局 上條建設環境課長、高山主任、望月主事</p> <p>■開会</p> <p>■あいさつ 小林村長</p> <p>■自己紹介</p> <p>■会長選出及び職務代理者の指名</p> <p>■諮問</p> <p>■会議事項 （1）上下水道事業の経営状況について 事務局</p> <p>本日の資料といたしましては、上下水道事業の現状を知っていただきたいと思いまして、水道事業の30年度の決算、31年度の予算、そして下水道事業の決算と予算。次に将来予想される上下水道事業の経営状況、最後に今後のスケジュールと課題を説明いたします。</p> <p>朝日村の上下水道事業は30年度まで特別会計で行って来ました。31年度からは複式簿記を取り入れまして、財産管理も同時に行うようになりました。31年度から公営企業会計の運営を始めましたので、前年度と比較はしづらいのですが、これから説明させていただきます。</p>				

第1回上下水道事業運営審議会 会議録

2/3

会 議 要 旨 ・ 会 議 結 果	審議事項の説明（事務局）	
	■質問	
	会長	現状から細かな分析、将来の見通し等不完全なところもあるかもしれませんが、説明していただきましたが、なにか質問ありますか。
	委員	予算書の中で長期前受金というものがあるが、どういう性格のものか。
	回答	こちらは、公営企業会計独自のもので、施設を作った時に頂いた国庫補助金を減価償却と同じように耐用年数で収益化を行っていくものになります。
	会長	今のところは村からの出資というかに頼っているわけですが、将来的には独立採算という方向になるということですか。
	回答	おそらくすべてが独立採算で賄うのは難しいと思います。できる限り補助金を活用し、使用者の負担が少ない運営をしていきたいと思っています。一般会計からの繰入金には、基準内繰入金と基準外繰入金があります。上下水道事業は公共性が高いということで、自治体からお金を投入してもよいと国に認められています。基準に基づいたお金は村から頂きながら、営業補填として頂いている基準外繰入金を減らしていくことが、独立採算の経営となっていくと思いますので、その方向に向かっていきたいと思っています。
	会長	大尾沢の改修だとか管の補修ということが大規模にあれば計画は変わってくるということですよ。
	回答	設備に改修は避けては通れないので、事業を継続していくために投資を行い、投資を行うために自己資金を貯めていきたいということです。
	会長	今回は方針を決めるということですので、細かな事業計画はまた次回ということによろしいですかね。
齊藤委員	大尾沢は40年ぐらい経過したと思いますが、どの程度の改修をしますか。	
回答	ほぼ全面改修となります。耐用年数経過していますし、飲み水ですので。	
委員	上下水道は生活していく上で一番大事。立派なところで会議をしても飲む水がないと本末転倒。最優先でやって頂きたい。回収を100%でなくちゃいけないという状況ならそれなりにやっていただかないといけない。そういう計画のもとで他の予算も考えていくということだと思います。	

第1回上下水道事業運営審議会 会議録

3/3

会議要旨・会議結果	<p>会長</p> <p>台風により千葉で鉄塔が壊れた。原因は、修理がいい加減だった。前倒しで、更新するべきだった。単純に災害があつてダメだったと朝日村がならないようにぜひお願いします。</p> <p>熱心な議論ありがとうございました。また次回よろしくおねがいします。</p>
-----------	--